

おまえざき

市議会だより

第26号

2010.10.11.12月

平成23年1月発行



撮影地：エコパーク



議長 後藤 憲志

新年あけましておめでとうございます。

皆様には新春をご家族お揃いでお健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。日頃から市議会に對しまして温かいご理解と協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

昨年末の12月、中部電力浜岡原子力発電所に大きな動きがありました。1点目は、4号機でのプルサーマル計画の延期です。延期については、国からの新耐震設計審査指針に照らした耐震安全評価が出ない以上やむを得ないと思いますが、核燃料サイクル交付金の交付時期も遅れ、計画された事業の変更も余儀なくされることになるのではないかと心配をするところであり、その対応も課題であります。

2点目は、経済産業省原子力安全・保安院からの5号機の耐震安全性の審議結果「仮想的東海地震」に対しても、耐震設計上重要な施設の機能保持には、安全上支障がないと考えるとの報告でした。

この報告を受け、昨年末の議会定例会終了後、原子力対策特別委員会、引き続き議会全員協議会を開催し、5号機運転再開について協議を致しました。その結果、議会として5号機の運転再開を了承するが、運転再開の時期は「1月15日開催の立地市および周辺3市対象の市民説明会および浜岡原発安全等対策協議会への説明後速やかに運転を再開すること」、中部電力は「今後も御前崎市民への説明をすること」、「一層の安心安全の確保に努力していただきたいこと」を確認致しました。今後とも原子力発電所の更なる安全性の確保と監視に最善を尽くしてまいります。

さて、議会の喫緊の課題は広域消防の枠組変更に伴う御前崎市消防署建設への対応があります。また、これまで各委員会で政策に対する調査研究により、執行部へのいくつかの事項を申し入れておりますが、その対応についても注視するとともに、今後も御前崎市の福祉向上と地域社会の活力ある発展を目指して努力してまいります。

市民の皆様にとって本年がよい年になりますことを心よりお祈り致しましてご挨拶とさせていただきます。

